

名 誉 会 員 追 悼



故 名誉会員 盛 利貞 先生

社団法人日本鉄鋼協会名誉会員、元京都大学教授、元鉄鋼短期大学（現、産業技術短期大学）学長、工学博士盛利貞先生は、平成19年12月1日、ご逝去されました。謹んで哀悼の辞を申し上げます。

先生は、昭和17年京都帝国大学工学部冶金学科をご卒業後、同年には京都帝国大学講師兼海軍技術士官に、昭和22年には京都大学助教授に、同33年には京都大学教授に任ぜられました。この間、昭和27年には京都大学より工学博士の学位を授与されておられます。また昭和57年の京都大学ご退官後には京都大学名誉教授の称号を、さらに鉄鋼短期大学学長を勤められたあとの平成2年には同短期大学名誉教授の称号を授与されておられます。

先生は、大学ご卒業以来一貫して鉄鋼に関する教育と研究に携われ、卓越した研究業績を挙げられるとともに、多くの人材を育成され、かつ大学運営および学界・産業界の発展にも貢献されました。

先生の研究分野は、鉄鋼材料学、鉄鋼熱力学、高温電気化学など広範囲にわたっておりますが、主な研究業績は次のとおりです。①Fe-As系、Fe-As-C系平衡状態図の作成。②鋼中の窒素および水素の溶解度ならびに溶鉄中炭素活量に及ぼす各種元素添加効果の解明。③質量分析法によるFe-Al, Fe-Mo, Fe-W系2元系溶体の熱力学諸量の測定。④浮揚溶解法による熔融鉄合金の酸化および脱酸反応の直接観察。⑤固体電解質起電力法の確立と熱力学測定への応用。⑥酸化物中の電子イオン混合電導性に起因する拡散現象の理論的解明と応用。⑦溶鋼用酸素センサーの作動特性の解明。

先生は、これら広範囲にわたる研究上のご功績により、日本鉄鋼協会西山賞、同事業功労賞、同製鉄功労賞、日本金属学会谷川ハリス賞、本多記念賞など多くの賞を受賞されました。また日本鉄鋼協会副会長、同理事、日本金属学会副会長、同理事、日本学術振興会製鋼第19委員会副委員長、同54委員会委員、同140委員会委員など多数の役職を勤められ、本会をはじめとする学協会ならびに鉄鋼業界の発展に貢献されました。

先生が鉄鋼科学技術と本会の発展に尽くされた多大なご業績に感謝し、会員一同衷心からの哀悼の意を捧げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成19年12月

日本鉄鋼協会 会長 浅井 滋生